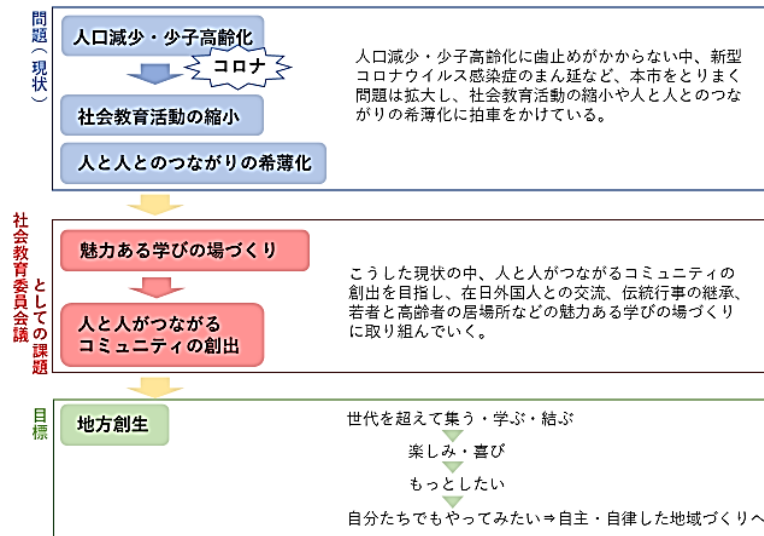


高梁市社会教育委員会では、本市の「人口減少・少子高齢化」という課題解決に向けた協議テーマを設定し、2年間にわたり協議を重ねてきました。

協議テーマ

**魅力ある学びの場を通し、
人と人がつながるコミュニティの創造**
サブテーマ：公民館による若者を中心とした世代間交流の充実～

課題解決までのイメージ



人口の減少率が高い高梁市の現状を踏まえ、学校と社会教育の懸け橋になり得る公民館において、将来を担う中学生や高校生など若者が中心となって、様々な世代とのつながりを生み出し、地域住民の学びを充実するために、公民館や教育委員会、学校や地域学校協働活動推進員が取り組むべきこと、また相互に協力する方法を考えました。そして、公民館を核に、若者が地域課題解決や地域づくりに取り組むための方策について調査研究を行うこととしました。

令和5・6年度はサブテーマにある

「公民館」と「若者」にターゲットを絞って協議を行いました。



若者を中心とした先進事例を行っている公民館2館の取り組みの経緯や成果についてヒアリングしました。

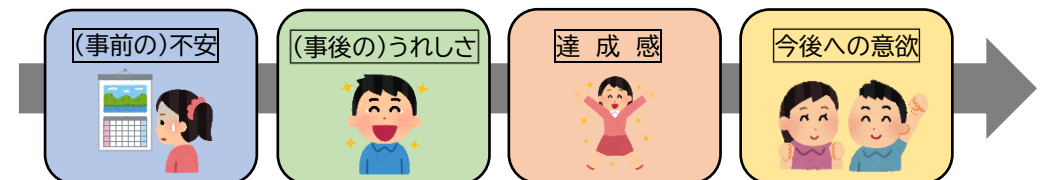


先進事例のヒアリングから見てきたこと

公民館を中心に、若者が主体となり地域の中で活躍することは、若者にとっても地域にとっても得るものが多く、地域の中に新たな出会いと、様々な世代の交流を生み、若者の成長と地域の活性化につながるわかりました。

事業の企画段階から運営まですべて自分たちでやり遂げるにより自己有用感やコミュニケーション力など非認知能力の育成、住民のウェルビーイングにつながる事が期待できます。

若者が企画段階から運営まで自分たちでやり遂げると…



高梁市社会教育委員からの提言(報告書 p.12)

1 公民館関係者へ向けて

- ・中高生等若者に対して、興味・関心の高い講座等企画したり、地域行事のボランティアとして受け入れたりするなど参加を募る。
- ・学校としっかり情報共有して、チラシ等を配付し中学生ボランティアなどで若者に企画段階から運営までを自分たちで実行できるように支援していく。
- ・教育委員会が提供する「わたしあうまち高梁市 出前講座」や「公民館等を中心とした地域力活性化レインボープロジェクト事業」を活用し、魅力ある活動につなげる。



納涼ふるさと祭のステージイベントで司会をした

中学生ボランティア

2 行政へ向けて

- ・中・高校生への地域活動情報提供を目的として「RUN LEARN (ランラン) たかはし」を実施し、公民館等活動の充実と、リーダー育成につなげる。
- ・公民館連絡協議会の運営の中で各地域で事例の情報交換などを行い、気軽に相談や共有の場の設定をする。
- ・地域連携担当教職員と地域学校協働活動推進員、また公民館の職員を対象に研修会を実施し、若者の社会参画の推進を図る。



地域連携担当教職員・公民館長・推進員で意見交換

3 学校関係者へ向けて

- ・社会に開かれた教育課程の実現に向け、社会と連携・協働した教育活動の充実を図り、児童生徒や教職員の視野が学校外(地域社会)へ広がるよう積極的に取り組む。
- ・参観日等で学習の報告会があれば、公民館への情報提供や、互いの活動共有の場の設定をするなど工夫を行う。
- ・地域連携担当教職員と地域学校協働活動推進員の合同研修会に積極的に参加し、地域との連携・協働に関する研鑽を積み、また推進員や公民館長との関係性を深める。
- ・教育委員会が実施する「RUN LEARN (ランラン) たかはし」を児童・生徒に積極的に勧める。興味があることやチャレンジしてみたいことを生徒自身が選んで、取り組むことが出来るよう周知を行う。



4 地域学校協働活動推進員へ向けて

- ・さまざまな活動について得意とする地域人材について公民館等と連携しながら発掘する。人材発掘に関しては各地域の公民館等と協力し、公民館講座や地域でのイベントで活躍する地域人材を見つける。
- ・学校や地域のモノ・コト・ヒトにアンテナを張り、関心を持つことを意識する。
- ・具体的な活動として、各地域の教材や題材を活用して、児童・生徒と地域住民を繋げることを心がける。